

金沢市で「医療機関における電波の利用環境・安全性に関する説明会」を開催

総務省北陸総合通信局（吉武 久 局長）は、平成28年6月25日（土）、金沢市内の金沢流通会館において、厚生労働省東海北陸厚生局、金沢市、公益社団法人石川県医師会、公益社団法人金沢医師会及び北陸情報通信協議会の後援により、医療機関に従事する方々や一般の方々を対象に電波の安全性に関して正しい知識と理解を深めていただくため、「医療機関における電波の利用環境・安全性に関する説明会」を開催し、医療関係者など70名が聴講され、電波の安全性への認識と医療現場における安全安心な電波利用についての認識を深めていただきました。

説明会では、はじめに、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課の篠澤康夫課長補佐から、「電波の安全性に関する総務省の取組」と題して講演があり、電磁波が健康に影響を与えないように基準を定めている「電波防護指針」について説明がされるとともに、近年の携帯電話（スマートフォン）は技術革新により電波出力の低減化等がなされ、公共交通機関の優先席付近での使用ルールの緩和が進展していることや、平成26年8月の電波環境協議会による「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」の策定により院内での使用可能な病院が増加していると説明されました。

次に、佐賀大学大学院工学系研究科知能情報システム学専攻の花田英輔教授から「医療現場における安全安心な無線通信の利用と電磁環境～安全安心な活用のために～」と題して、自らも副座長として策定に関わり本年4月に電波環境協議会から公表された「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き※」について、安心・安全に電波を利用するための3原則（(1)電波を利用している現状や発生するリスクとその対策の把握、(2)電波を管理する体制の構築、(3)電波を利用するための方策の検討の実施）の必要性や実際の無線システムの導入経験から、計画的な導入により費用対効果を高めることが必要であり、安全な無線通信の利用は医療の効率と安全を高めると説明されました。



【講演する篠澤課長補佐】



【講演する花田教授】



【説明会の様子】

（平成28年6月25日、金沢流通会館）

参加者からは、「工作上必要な知識を得るため参加した」が70%、「聴講後は電波による健康影響への不安は減った」が36%、「医療機関における電波利用に関する疑問は減った」が64%、両講師の説明内容は「理解できた」と「ほぼ理解できた」が91%と86%、「このような説明会を定期的に行ってほしい」が55%と、北陸総合通信局への要望と期待などについて、アンケート結果から確認することができました。

北陸総合通信局では、電波の安全性に関する正しい知識の普及と安心で安全な電波利用環境を確保するため、平成28年度は金沢市のほか、11月頃に福井市、来年2月頃に富山市において説明会の開催を予定しています。

※「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」のダウンロードはこちら
⇒電波環境協議会HP (<http://www.emcc-info.net/info/info280404.html>)